



2019年11月13日

各位

会社名 株式会社 ミダック  
 代表者名 代表取締役社長 加藤 恵子  
 (コード番号: 6564 東証・名証第二部)  
 問い合わせ先 取締役経営企画部長 高田 廣明  
 (TEL.053-488-7173)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,868	1,167	1,117	576	60.72
今回修正予想 (B)	5,084	1,412	1,346	719	75.87
増減額 (B-A)	216	244	229	143	
増減率 (%)	4.4%	21.0%	20.5%	25.0%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	4,676	1,098	1,090	567	57.11

(注) 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 修正の理由

昨今の廃棄物処理業界におきまして、中国による廃プラスチック等の輸入禁止措置が行われ、国内で処理しなければならない廃棄物量が増加し、一部の産業廃棄物処理施設では処理能力が逼迫しつつあります。また、台風19号などの大型台風の影響により災害廃棄物が大量に発生し、これを迅速に処理することが喫緊の課題となっております。また、最終処分場への需要は依然として高い状況が続いております。

当社グループの最終処分場におきましては、期初の計画に基づいた搬入を進めており、搬入量が計画値から乖離することがないよう搬入制限に努めてまいりましたが、上記のような状況に鑑み、廃棄物処理業を営む当社グループにとって、これに応えることは社会的に意義のあることであると判断し、搬入計画を一部緩和する方針を固めました。また、中間処理施設も同様に廃棄物搬入量の増加を見込みました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回る見込みとなったため、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上